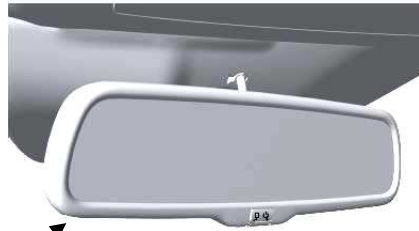


改善箇所説明図



自動防眩ルームミラー

基準不適合発生箇所

自動防眩ルームミラーにおいて、部品の製造工程が不適切なため、内部基板に異物が混入しているものがある。そのため、電子回路が短絡して樹脂材が溶け発煙し、最悪の場合、コントロールヒューズが溶断してエンジンが始動できなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、自動防眩ルームミラーを対策品に交換する。

識別：アクセラ/アテンザは右リヤ・ドア・ロア・ヒンジ取付けボルト(下側)の頭に黄ペンを塗布する。
プレマシー/ラフェスタは右フロント・ドア・ロア・ヒンジ取付けボルト(下側)の頭に黄ペンを塗布する。

注) は、交換する部品を示す。